

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		小中学校児童生徒健診事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	安武 祐次
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	学校教育課	担当者名	可徳 昭子
	基本事業	44	病気の早期発見			所属班	学務指導班	(内線)	2224
予算科目		会計一般	款 10	項 2	目 1	事業連番 10378 他	法令根拠	学校保安全健法	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
						成果優先度評価結果		⑦	
						コスト削減優先度評価結果		⑥	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	学校保健安全法第13条に定められている事業である。法に定められたものであり変化はない。 【事業の内容】児童生徒の疾病の予防、身体の安全の確保を図り、学校教育の円滑な実施を図るため、検尿、血圧、貧血、心電図検査等を実施する。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	健診機関との委託契約事務、委託料支払い事務、結果確認事務
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
児童生徒の健康状態及び成長状況を把握するため健康診断を実施。検尿・血圧・貧血・心電図等	児童生徒の健康状態及び成長状況を把握するため健康診断を実施する。検尿・血圧・貧血・心電図等
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア:健診受診者児童数	人 児童生徒数の増
→ イ:健診受診者生徒数	人
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校児童生徒	(単位)
	→ ア:小学校児童数
	→ イ:中学校生徒数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
児童生徒の健康状態を把握し、疾病の予防、身体の安全の確保を図り、義務教育が支障なく受けられる状態にする	(単位)
	→ ア:健康な体で学校に通える児童の割合
	→ イ:健康な体で学校に通える生徒の割合
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
児童生徒の健康状態及び成長状況を把握するため。	
総トータルコスト全体計画 ~ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア	人	3,997	4,105	4,163	4,219	4,314	4,423	4,530	4,630	
	イ	人	1,643	1,744	1,877	1,837	1,878	1,935	1,990	2,040	
②対象指標	ア	人	3,997	4,105	4,163	4,219	4,314	4,423	4,530	4,630	
	イ	人	1,643	1,744	1,877	1,837	1,878	1,935	1,990	2,040	
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	6,415	6,736	7,401	7,356	7,585	7,679	7,875	8,055
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	3	3	1	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	10	20	107	300	107	107	300	300
(B)人件費計	千円	40	79	426	1,195	426	426	1,195	1,195		
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,455	6,815	7,827	8,551	8,011	8,105	9,070	9,250		

事務事業名	小中学校児童生徒健診事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 児童生徒全員の受診が見込まれる <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業そのものは、児童生徒に健康診断を受けてもらう事業であり、成果の向上余地はない。ただし、現状を維持していくためには事業の継続が必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 健診項目等決まっており、事業費の削減余地はない
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事務時間であり削減できない。委託するような業務時間でない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 法に定められた事項である、議論の余地はない。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民や地域・団体への移行はできない

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

児童生徒の疾病の予防、身体の安全の確保を図り、学校教育の円滑な実施を図るため、検尿、血圧、貧血、心電図検査を実施することができた。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					